

# WinCT-Counting

## 取扱説明書

**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

## ソフトウェア使用許諾契約

- ・「WinCT-Counting」の著作権は、株式会社エー・アンド・デイ(以下、弊社)が有します。
- ・「WinCT-Counting」を弊社に無断で複製する事は禁じます。
- ・「WinCT-Counting」の仕様および本書は予告なく変更することがあります。
- ・「WinCT-Counting」は弊社製個数計と PC へのデータ転送に使用します。その他の目的では使用しないでください。
- ・「WinCT-Counting」は、個数計と接続する PC のハードディスクまたはその他の記憶装置に限りインストールして使用できます。
- ・弊社は「WinCT-Counting」の欠陥または本書の不備により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性がある場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時に、ソフトウェアやデータの損失の責任を一切負いません。

© 2022 株式会社エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

Microsoft、Excel、Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

ZPL<sup>®</sup>および ZPL II<sup>®</sup>は ZIH Corp.の登録商標です。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

DataMatrix は、米国インターナショナルデータマトリックス社の登録商標です。

本書に記載されている商品名および社名は、日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

---

# 目次

---

1. ソフトウェア概要	4
1.1. 接続方法	5
1.2. 各部説明(Mode 共通)	6
1.3. 操作方法(Mode 共通)	9
2. UFC-ダンプ印字機能 UFC-Dump Mode	12
2.1. UFC-ダンプ印字機能にできること	12
2.2. UFC-ダンプ印字機能を利用するには	12
2.3. UFC-ダンプ印字機能の特長	13
2.4. UFC-ダンプ印字機能の各部説明	14
2.5. UFC-ダンプ印字機能の操作方法	15
3. UFC-バーコードラベル機能 UFC-Barcode Mode	16
3.1. UFC-バーコードラベル機能にできること	16
3.2. UFC-バーコードラベル機能を利用するには	16
3.3. UFC-バーコードラベル機能の特長	17
3.4. UFC-バーコードラベル機能の各部説明	18
3.5. UFC-バーコードラベル機能の操作方法	21
3.6. UFC 出力フォーマットの作成例	22
4. 内部設定機能 Function Mode	23
4.1. 内部設定機能を利用するには	23
4.2. 内部設定機能の特長	23
4.3. 内部設定機能の各部説明	24
4.4. 内部設定機能の操作方法	25
5. コマンド機能 Command Mode	27
5.1. コマンド機能の特長	27
5.2. コマンド機能の各部説明	27
5.3. コマンド機能の操作方法	29
6. メモリ機能 Memory Mode	30
6.1. メモリ機能を利用するには	30
6.2. メモリ機能の特長	30
6.3. メモリ機能の各部説明	32
6.4. メモリ機能の操作方法	34
6.5. メモリ機能の使用例	36

---

## 1. ソフトウェア概要

---

本ソフトウェア「Windows Communication Tools for Counting Scale (以下「WinCT-Counting」と記載します)」は、  
エー・アンド・デイ製個数計の使用をアシストする設定ツールです。

- 個数計が出力する「UFC 出力フォーマット」を PC 上で編集、個数計に記憶させます。
- 個数計の内部設定を PC 上で確認、変更内容を個数計に記憶させます。
- 個数計にコマンドを送ります。
- 個数計の内部メモリを PC 上で確認、リストを保存、PC に保存されたリストを展開し個数計に記憶させます。

「WinCT-Counting」は、弊社ホームページ(<https://www.aandd.co.jp/>)からダウンロードできます。

「WinCT-Counting」のセットアップ方法は、ダウンロードしていただいた「WinCT-Counting」フォルダ内の  
「WinCT-Counting セットアップ方法」をご参照ください。

本書では、次の表記上の規則があります。

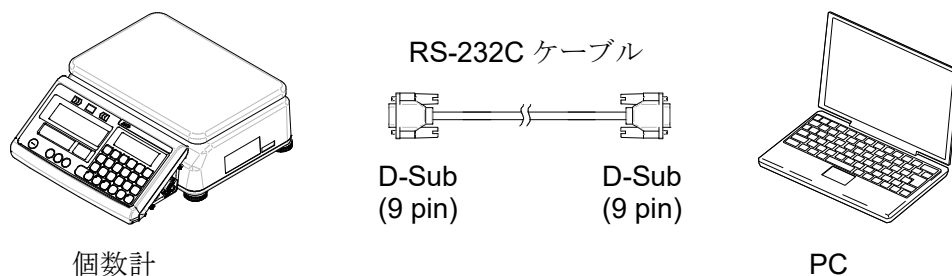
- 画面の **Mode** 共通のメニューは、[ ] を使用して表記します。  
[File] メニュー、[Open]
- 画面のラベル/GUI の名称は、[ ] を使用して表記します。  
[コマンドリスト]、[テキストボックス]
- 画面のボタンの名称は、 を使用して表記します。  
 、

## 1.1. 接続方法

### ① 個数計と PC の接続方法

#### (1) PC に RS-232C インタフェースがある場合

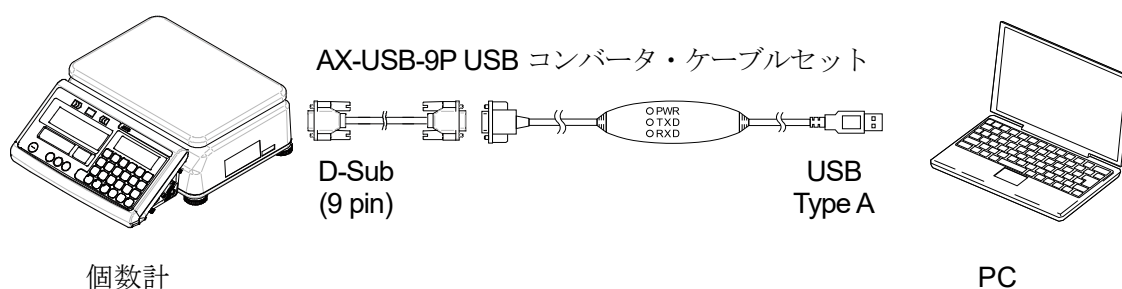
個数計の RS-232C インタフェースと PC のピン配置をご確認の上、RS-232C ケーブルを用意し、接続してください。



#### (2) PC に RS-232C インタフェースがない、または PC の USB インタフェースを使用する場合

用意するもの: AX-USB-9P USB コンバータ・ケーブルセット

(ドライバのインストールが必要です。USB コンバータの取扱説明書を参照してください。)



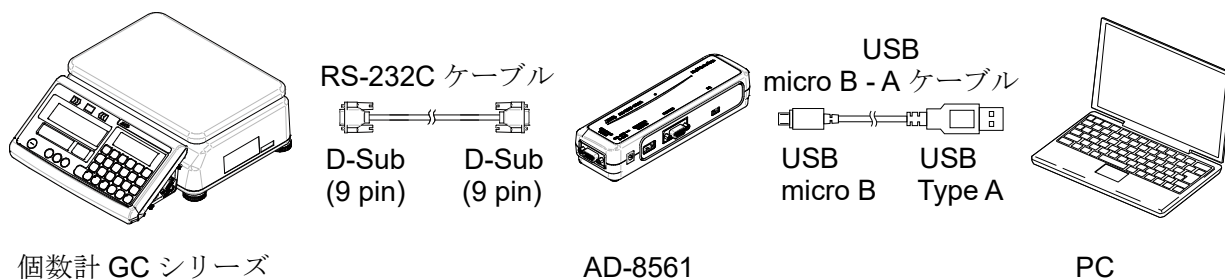
#### (3) 個数計 GC シリーズで AD-8561-MI02 の USB インタフェースを経由する場合

AD-8561 に付属している RS-232C ケーブルで個数計 GC と AD-8561 を接続します。

USB micro B - A ケーブルを用意し、AD-8561-MI02 の USB インタフェースと PC の USB インタフェースを接続します。

(AD-8561 用の USB ドライバが必要です。AD-8561 の取扱説明書を参照してください。)

ただし、UFC-バーコードラベル機能では AD-8561 を使用できません。

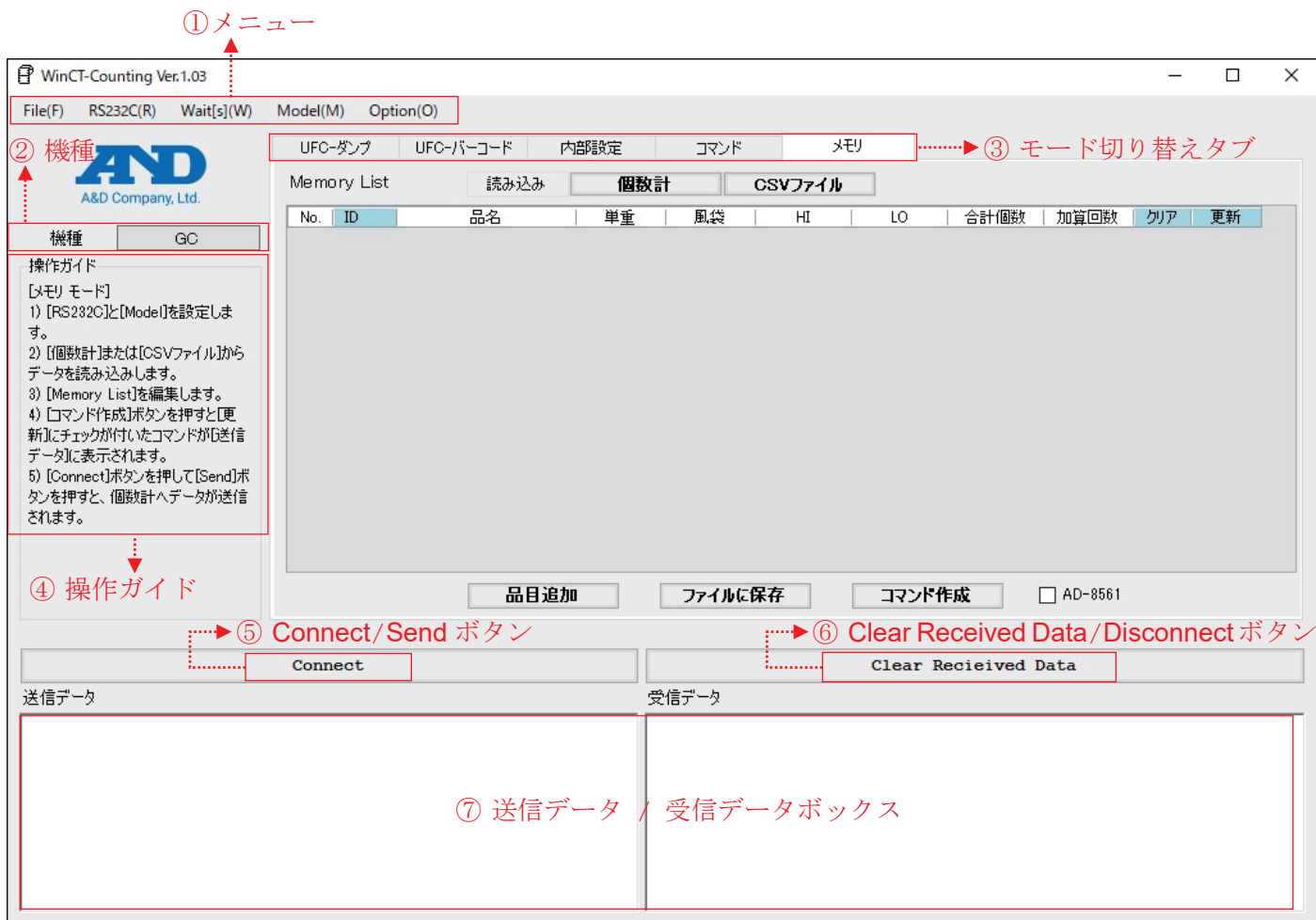


※ AD-8561 の RS-232C インタフェースを使用する場合は上記(1)、(2)と同じですが、その場合は AD-8561 の RS-232C ポートのボーレートを 9600bps 以上に設定してください。

(設定方法は AD-8561 の取扱説明書を参照してください。)

### ② PC のデバイスマネージャー等で COM ポート名と COM ポート番号を確認してください。

## 1.2. 各部説明(Mode 共通)



### ① メニュー

#### File メニュー

ファイル操作をします。

名称	説明	
Open	ファイルを読み込みます。	
	Send Data	送信データを読み込みます。
	Barcode Data	UFC-バーコードモードの作成データを読み込みます。
New	データをクリアします。	
	Send Data	送信データをクリアします。
	Received Data	受信データをクリアします。
Save	データをファイルに記憶します。	
	Send Data	[送信データ]ボックスのデータを保存します。
	Received Data	[受信データ]ボックスのデータを保存します。
	Barcode Data	UFC-バーコードモードの作成データを保存します。
Print	プリンタに出力します。	
	Send Data	送信データをプリンタに出力します。
	Received Data	受信データをプリンタに出力します。
End	WinCT-Counting を終了します。	

## RS232C メニュー

RS-232C 通信設定を行います。

名称	説明
Com Port	COM ポートを選択します。使用できるポートのみ表示します。
Baud Rate	ボーレート 600/1200/*2400/4800/9600/14400/19200/28800/38400
Parity	パリティを選択します。 *Even: 偶数(E)/Odd: 奇数(O)/None: 無し(N)
Length	データ長を選択します。 *7/8
Stop Bit	ストップビットを選択します。 *1/1.5/2
Terminator	ターミネータを選択します。 *CR/LF/CR

\*初期設定

## Wait[s]メニュー

送信時に行と行の間におかれる時間の間隔設定をします。

個数計の受信バッファのサイズやデータの処理時間により異なりますので、使用する個数計や状態に合わせて設定してください。

名称	説明
	送信時に行と行の間におかれる時間の間隔[秒] 0.0/0.1/0.2/0.3/0.4/0.5/0.6/0.7/0.8/0.9/1.0/ 1.1/1.2/1.3/1.4/1.5/1.6/1.7/1.8/1.9/2.0

## Model メニュー

使用する個数計の機種を選択します(使用できる機種を表示します)。

名称	説明
	使用する個数計の機種を選択します。

## Option メニュー

オプション設定を行います。

名称	説明
Language	言語を選択します。 *Japanese/English

\*初期設定

## ② 機種名

〔Model〕メニューにて選択中の機種が表示されます。

使用中の機種と異なる場合は〔Model〕メニューから変更してください。

### ③ モード切り替えタブ

名称	説明
UFC-ダンプ	UFC 機能 ダンプ印字モードでの UFC コマンドを作成し、UFC フォーマットを個数計に記憶させます。計量器から送られてきたデータをそのまま印字したいときのモードです。
UFC-バーコード	UFC 機能 バーコードラベル印字モードでの UFC コマンドを作成し、UFC フォーマットを個数計に記憶させます。計量器から送られてきたデータを、バーコードラベルで印字したいときのモードです。
内部設定	内部設定機能 個数計の現在の内部設定を確認、変更します。
コマンド	コマンド機能 個数計に有効なコマンドを選択し、個数計に送付します。
メモリ	メモリ機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 個数計の内部メモリを読み込み、リスト化し、csv ファイルに保存します。</li> <li>□ ファイルからメモリデータを読み込み、個数計に記憶させます。</li> <li>□ 外部メモリ用の SD カードに使用するメモリデータを作成、保存します。</li> </ul>

### ④ 操作ガイド

各機能の操作手順の簡易的な説明が表示されます。

### ⑤ Connect/Send ボタン

名称	説明
Connect	個数計との通信を開始します。 (通信が開始されると <b>Send</b> に変わります。)
Send	個数計に[送信データ]ボックスの文字列を送信します。 ( <b>Disconnect</b> を押すと <b>Connect</b> に変わります。)

### ⑥ Clear Received Data/Disconnect ボタン

名称	説明
Disconnect	個数計との通信を終了します。 (通信が終了すると <b>Clear Received Data</b> に変わります。)
Clear Received Data	[受信データ]ボックスをクリアします。 ( <b>Connect</b> を押すと <b>Disconnect</b> に変わります。)

### ⑦ 送信データ/受信データボックス

名称	説明
送信データ	個数計に送信するコマンドを表示します。 直接テキストを入力することも可能です。 空白行(ターミネータだけの行)をはさむことで、空白行以下の行は送信されません。(コメントや出力結果などを入れておくと、保守や次の変更のときに役に立ちます。)
受信データ	個数計から受信した文字列を表示します。 直接テキストを入力することも可能です。



## 1.3. 操作方法 (Mode 共通)

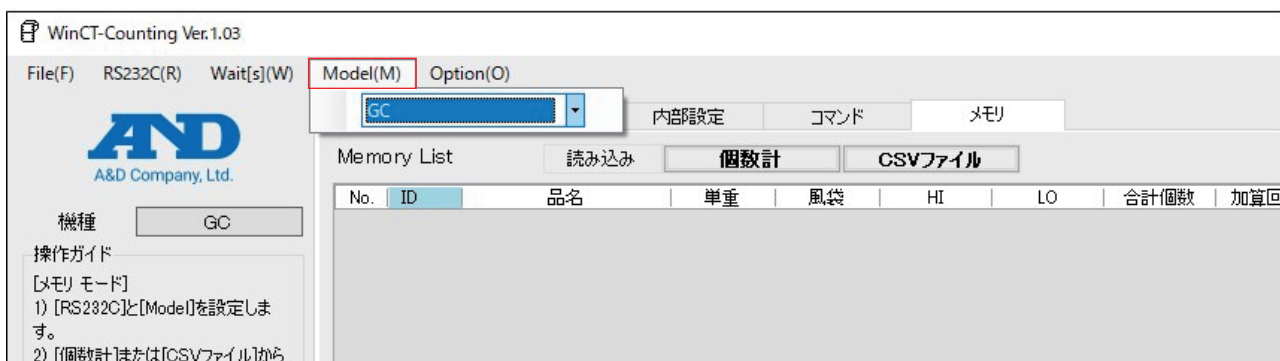
### 1. WinCT-Counting の起動

PC のスタートメニューより起動します。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「A&D WinCT-Counting」→「WinCT-Counting」  
または「WinCT-Counting」のアプリケーションを検索してください。

### 2. 機種選択

〔Model〕メニューをクリックして、接続する個数計の機種を選択してください。

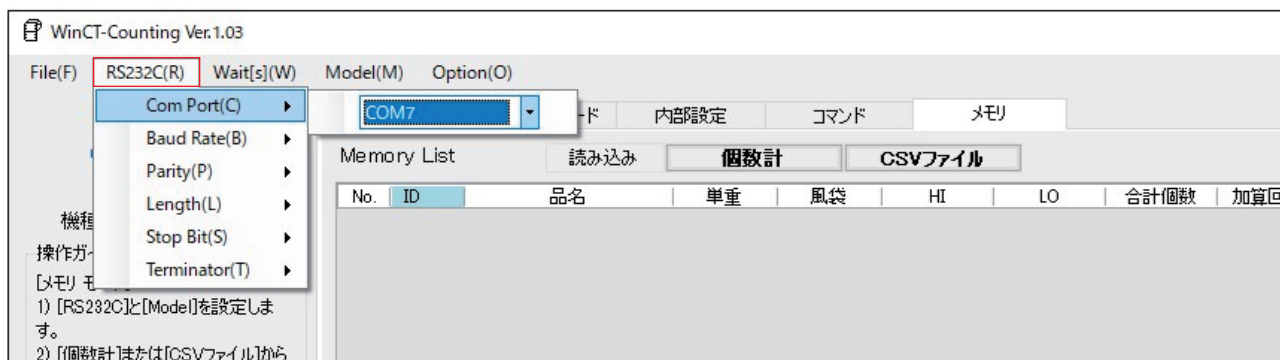


### 3. 通信設定

〔RS232C〕メニューをクリックして〔Com Port〕から、個数計と通信するための COM ポートを選択してください。また、RS-232C の各設定が個数計の通信設定と合うように選択してください。(WinCT-Counting の初期設定は、エー・アンド・デイ製個数計の出荷時設定と同じです。)

COM ポート番号はデバイスマネージャーで確認できます。

- ※ 個数計 GC で AD-8561 を経由する場合は、個数計の通信設定を AD-8561-MI モードに設定し、WinCT-Counting の通信設定を AD-8561 の通信設定に合わせてください。(AD-8561 の通信設定は AD-8561 の取扱説明書を参照してください。)

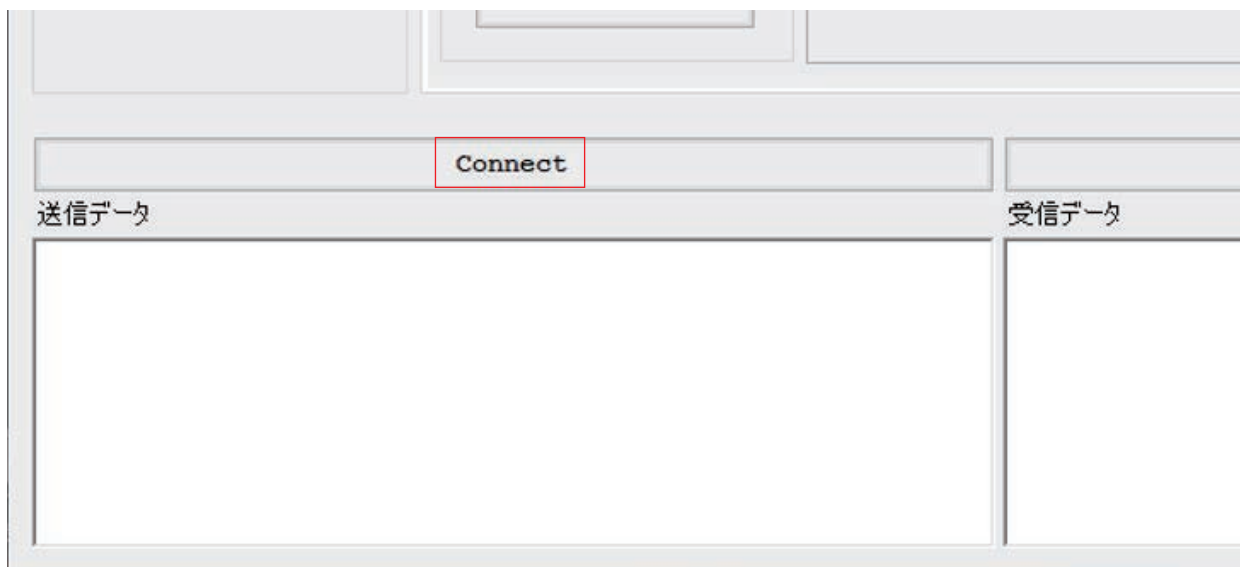


#### 4. 個数計の設定

UFC 機能を使用する場合は、個数計が UFC モードの設定になっている事を確認してください。設定方法は使用する個数計の取扱説明書を参照してください。内部設定機能で確認/変更することも可能です。

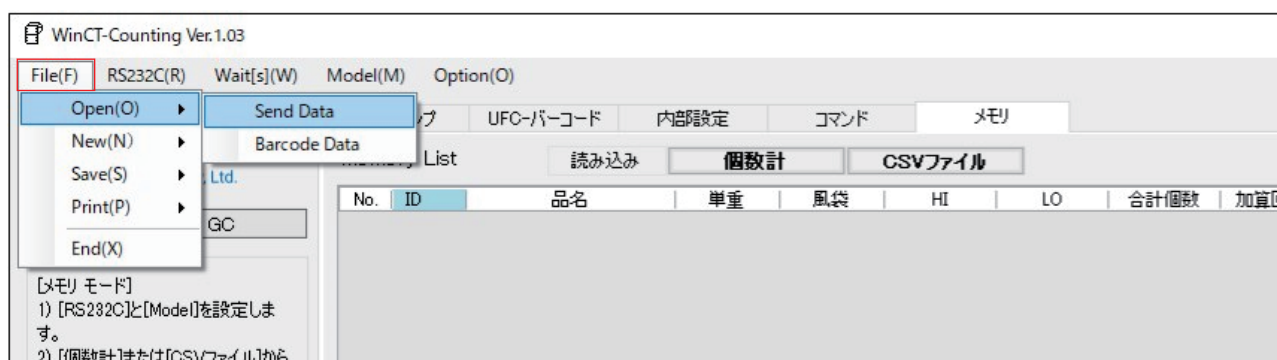
#### 5. 個数計との接続

**Connect** を押して個数計と接続します。



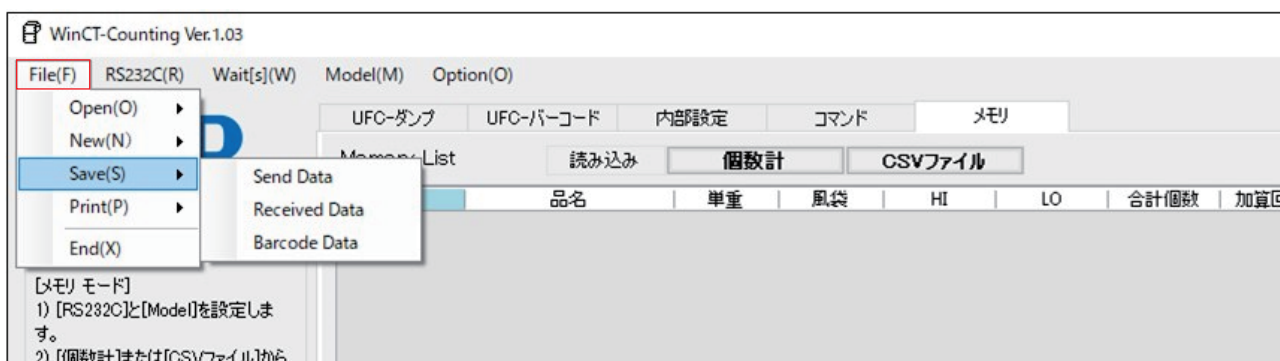
#### 6. PC に保存されたファイルの内容をそのまま個数計に送信する場合

[File] メニュー → [Open] → [Send Data] から、事前に作成したファイルを選択し開きます。txt または csv ファイル上でコマンドを作成して、個数計に一括送信することができます。



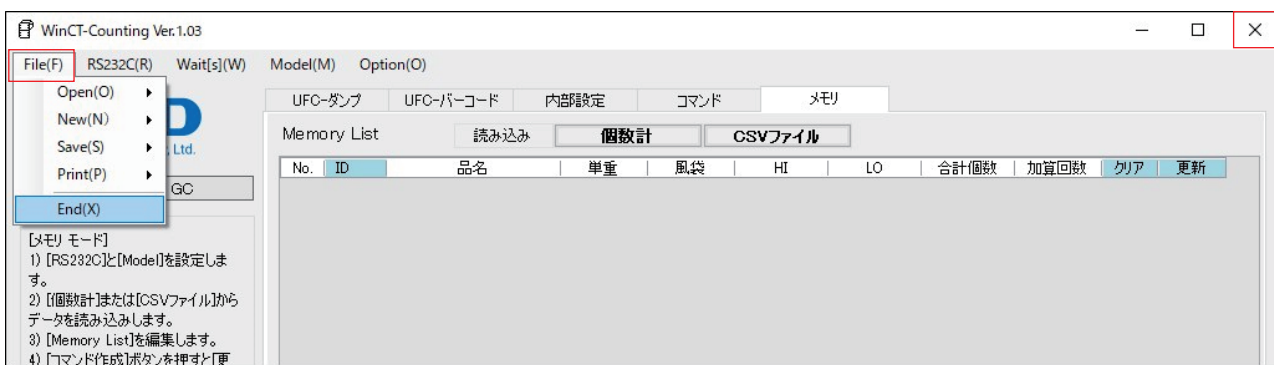
## 7. [送信データ]または[受信データ]のテキストを保存する場合

[File] メニュー→ [Save] → [Send Data] / [Received Data] / [Barcode Data] から、名前を付けて保存します。txt または csv ファイルでテキストを保存できます。



## 8. Win-CT Counting の終了

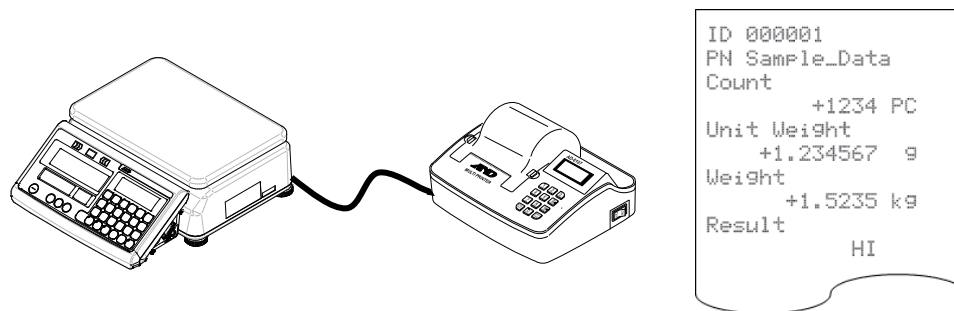
[File] メニュー→ [End] またはウィンドウ右上の[X]を押します。



## 2. UFC-ダンプ印字機能 UFC-Dump Mode

### 2.1.UFC-ダンプ印字機能にできること

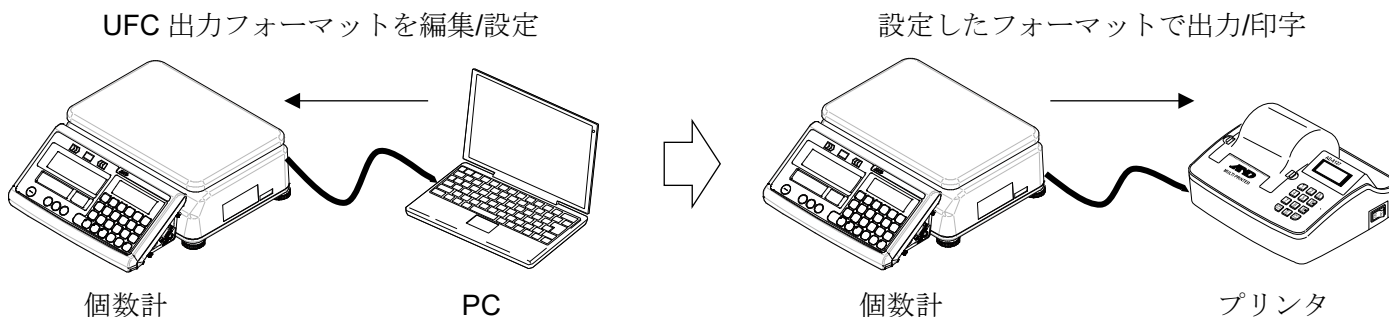
- UFC (Universal Flex Coms)機能を搭載したエー・アンド・デイ製個数計は、計量データ出力の際に任意のフォーマット(UFC 出力フォーマット\*1)で出力することができます。これにより、ダンププリントが可能なプリンタに印字する際に、出力データの種類や印字の順番などを変更することができるようになります。AD-8127 の場合、プリンタをダンプ印字モードに設定してください。(設定方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。)



- UFC 出力フォーマットで出力できるのは、固定テキスト、個数計がもつ変数データ(計量値など)、ASCII 制御コード、以上の 3 種類です。これらを組み合わせて出力することも可能です。詳細は個数計の取扱説明書をご確認ください。

### 2.2.UFC-ダンプ印字機能を利用するには

- UFC 機能を使って個数計が UFC 出力フォーマットでデータを出力するためには、あらかじめ UFC 出力フォーマットの設定を、個数計に記憶させる必要があります。
- 個数計に UFC 出力フォーマットを記憶させるには、決められた形式のコマンド(UFC 設定コマンド\*2)を PC から個数計に送信します。
- WinCT-Counting の UFC Mode は、PC 上で UFC 出力フォーマットを編集し、個数計へ UFC 設定コマンドを送信するためのアプリケーションです。



\*1 ご使用の個数計の取扱説明書によっては、「UFC フォーマット」、「出力フォーマット」、「フォーマット」と記載している場合があります。

\*2 ご使用の個数計の取扱説明書によっては、「PF コマンド」、「UFC コマンド」、「UFC プログラムコマンド」と記載している場合があります。

お知らせ

- 個数計に送信した UFC 設定コマンドは、個数計の電源を切っても記憶しています。
- 記憶できる文字数や UFC 設定コマンドの形式、PC との接続に必要なケーブルやオプションは個数計によって異なります。詳細はご使用になる個数計の取扱説明書を参照してください。

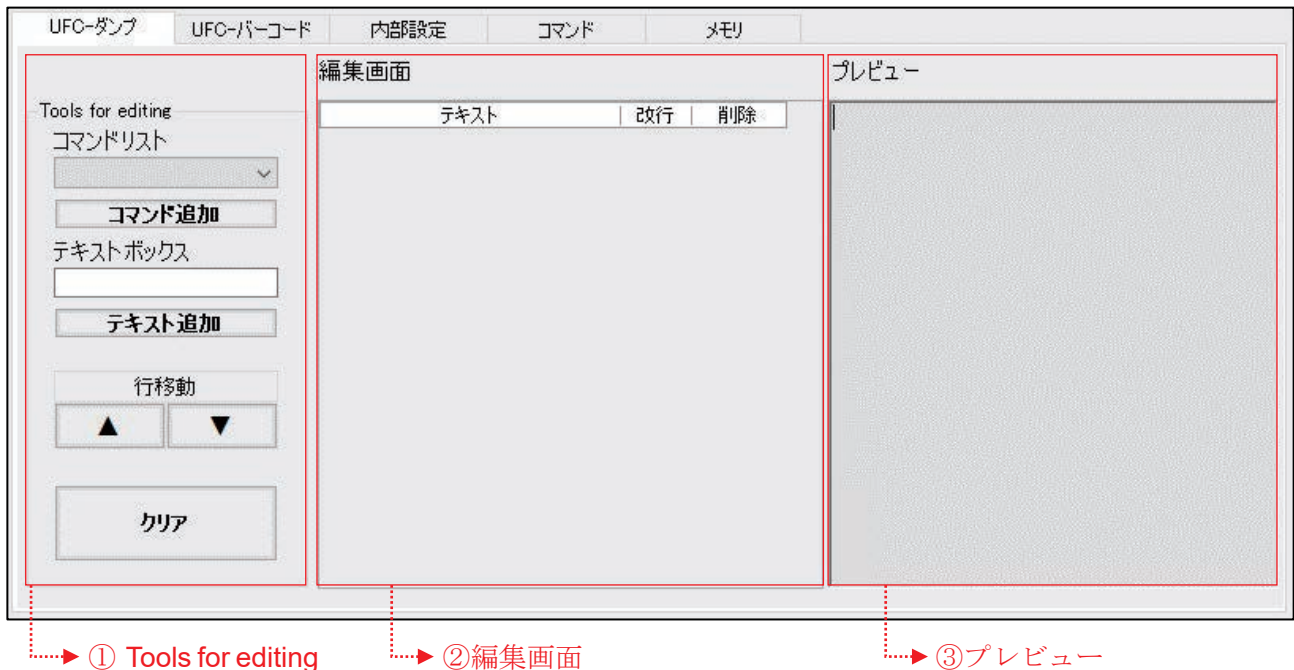
---

## 2.3. UFC-ダンプ印字機能の特長

---

- UFC 出力フォーマットの作成は、印字したい計量値や単重等の選択や、テキスト入力により簡単に行えます。
- 個数計が出力する UFC 出力フォーマットのプレビューが PC 上に表示されますので、フォーマットの編集や調整も容易です。
- 編集したフォーマットの内容を元に、個数計に送信する UFC 設定コマンドが自動生成され、生成した UFC 設定コマンドは PC から個数計へ送信、記憶させることができます。また、個数計から受信したデータを PC 上に表示できます。
- UFC 出力フォーマットの編集内容、UFC 設定コマンド、個数計から受信したデータは、csv ファイルで保存、読み込みが可能です。また、PC からプリンタに印刷することも可能です。

## 2.4.UFC-ダンプ印字機能の各部説明



### ① Tools for editing

出力データを編集するためのツールです。

名称	説明
コマンドリスト	使用できる変数データを表示します。
コマンド追加	[コマンドリスト]で選択されている変数データを編集画面に追加します。
テキストボックス	文字を入力して <b>Enter</b> キーを押すと編集画面に文字が追加されます。 (空白を設定することもできます。)
テキスト追加	[テキストボックス]の文字を編集画面に追加します。
行移動(▲)	編集画面で選択している行(青色)を1段上の行と入れ替えます。
行移動(▼)	編集画面で選択している行(青色)を1段下の行と入れ替えます。
クリア	編集画面のデータをクリアします。

### ② 編集画面

UFC 出力フォーマットを編集する画面です。

名称	説明
テキスト列	追加された変数データや文字列が表示されます。 文字列はこの画面でも編集できます。 変数データは灰色で表示され、編集できません。
改行列	チェックが入ると行の末尾に改行コードが入ります。 チェックが外れると改行コードは入らずに次の行と結合されます。
削除列	<b>Delete</b> を押すと押した行が削除されます。

### ③ プレビュー

プレビュー画面です。

編集画面のデータを実際の UFC 出力フォーマットにして表示します。  
変数データに対応する部分には、個数計が出力するデータの例が表示されます。  
表示される例は実際のデータと文字数は同じですが、内容は異なります。

## 2.5. UFC-ダンプ印字機能の操作方法

始めに、「1.3. 操作方法 (Mode 共通)」手順 1~4 を行ってください。  
[UFC-ダンプ]タブを選択し、UFC-ダンプ印字機能画面を開きます。

### 5. UFC 出力フォーマットを作成

### 6. PC から個数計へ UFC 設定コマンドを送信

- (1) **Connect** を押すと通信が開始し、**Send** に変わります。
- (2) **Send** を押すと[送信データ]に表示されたコマンドが 1 行ずつ個数計へ送信されます。  
行と行の間には [Wait[s]] で設定された時間がおかれます。
- (3) 送信された UFC 設定コマンドは個数計に記憶されます。

手順 5. UFC 出力フォーマットを作成

The screenshot shows the WinCT-Counting Ver.1.03 software interface. The 'UFC-ダンプ' tab is selected. The '編集画面' (Edit Screen) is active, showing a table of items to be sent to the scale. The 'Preview' (プレビュー) shows the resulting output format. Red arrows and text boxes highlight the 'Connect' and 'Send' buttons, and the 'Send Data' (送信データ) and 'Received Data' (受信データ) fields.

テキスト	改行	削除
[Item code]	<input checked="" type="checkbox"/>	Delete
Unit Weight	<input checked="" type="checkbox"/>	Delete
Total	<input type="checkbox"/>	Delete
[Unit weight]	<input checked="" type="checkbox"/>	Delete
Total	<input checked="" type="checkbox"/>	Delete
[Total count]	<input checked="" type="checkbox"/>	Delete
[Comparator result]	<input checked="" type="checkbox"/>	Delete

送信データ

```
PF,$NM$CR$LF&
'$CR$LF&
'Unit Weight'$CR$LF&
' '$SUW$CR$LF&
'Total'$CR$LF&
' '$STL$CR$LF&
SCP$CR$LF
```

受信データ

```
<AK>
```

### 7. 個数計からデータを受信

- 個数計の印字キーを押してデータを出力します。
- 出力されたデータは[受信データ]ボックスに表示されるので、ここでデータの内容に問題がないか確認します。

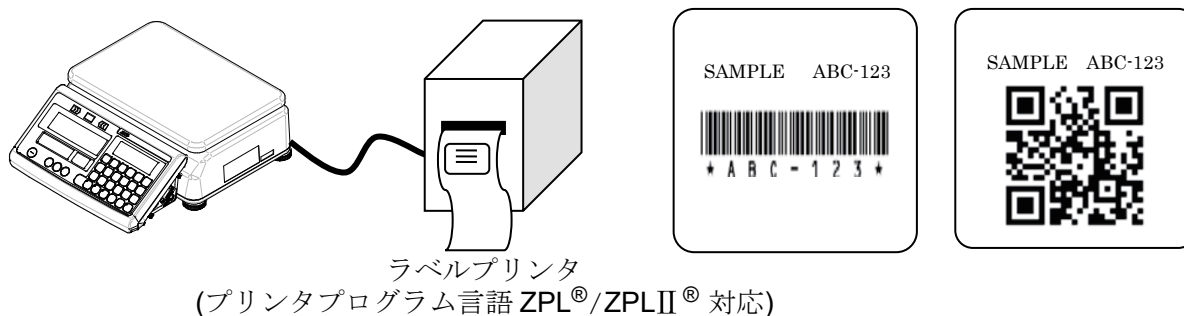
### 8. 通信終了

**Disconnect** を押します。

### 3. UFC-バーコードラベル機能 UFC-Barcode Mode

#### 3.1. UFC-バーコードラベル機能にできること

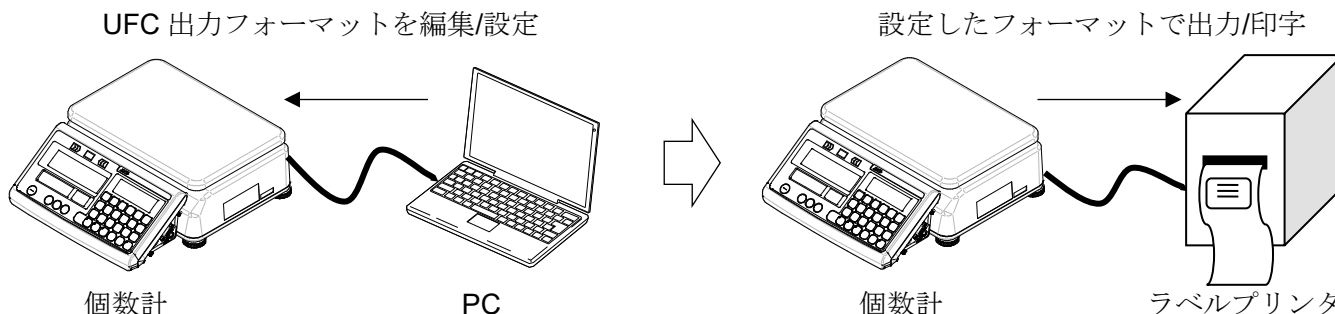
- UFC (Universal Flex Coms)機能を搭載したエー・アンド・デイ製個数計は、計量データ出力の際にラベルプリンタの制御文字列を出力するように UFC 出力フォーマット(\*1)を編集することで、PC を介さずに直接計量器からバーコードや2次元コードのラベルを印字させることができます。



- UFC 出力フォーマットで出力できるのは、固定テキスト、個数計がもつ変数データ(計量値など)、ASCII 制御コード、以上の3種類です。これらを組み合わせて出力することも可能です。詳細は個数計の取扱説明書をご確認ください。

#### 3.2. UFC-バーコードラベル機能を利用するには

- UFC 機能を使って個数計が UFC 出力フォーマットでデータを出力するためには、あらかじめ UFC 出力フォーマットの設定を、個数計に記憶させる必要があります。
- 個数計に UFC 出力フォーマットを記憶させるには、決められた形式のコマンド(UFC 設定コマンド\*2)を PC から個数計に送信します。
- WinCT-Counting の UFC Mode は、PC 上で UFC 出力フォーマットを編集し、個数計へ UFC 設定コマンドを送信するためのアプリケーションです。



UFC-バーコードラベル機能では AD-8561 を使用できません。

\*1 ご使用の個数計の取扱説明書によっては、「UFC フォーマット」、「出力フォーマット」、「フォーマット」と記載している場合があります。

\*2 ご使用の個数計の取扱説明書によっては、「PF コマンド」、「UFC コマンド」、「UFC プログラムコマンド」と記載している場合があります。



## お知らせ

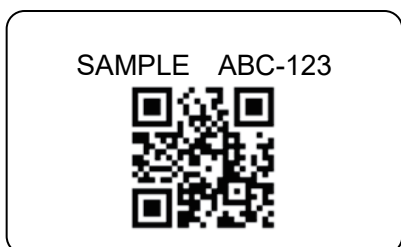
- 個数計に送信した UFC 設定コマンドは、個数計の電源を切っても記憶しています。
- 記憶できる文字数や UFC 設定コマンドの形式、PC との接続に必要なケーブルやオプションは個数計によって異なります。詳細はご使用になる個数計の取扱説明書を参照してください。

---

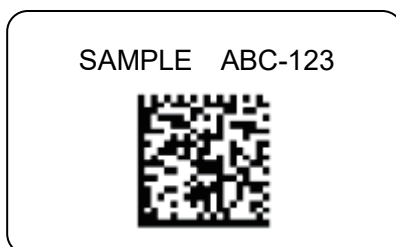
### 3.3. UFC-バーコードラベル機能の特長

---

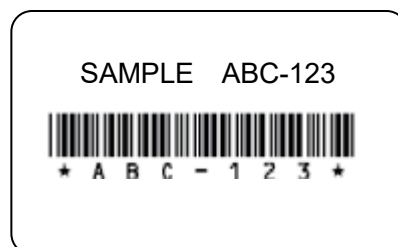
- UFC 出力フォーマットの作成は、印字したい計量値や単重等の選択や、テキスト入力により簡単に行えます。
- 個数計が出力する UFC 出力フォーマットのプレビューが PC 上に表示されますので、フォーマットの編集や調整も容易です。
- ラベルプリンタ(プリンタのプログラム言語が ZPL<sup>®</sup>および ZPLII<sup>®</sup>に対応しているもの)で、バーコードラベルを印字するためのプログラムを編集できます。
- 「UFC-バーコードラベル機能」で印字できるバーコードおよび 2 次元コードは、「QR コード」、「データマトリクスコード」、「Code 39」の 3 種類です。



QR コード印字例

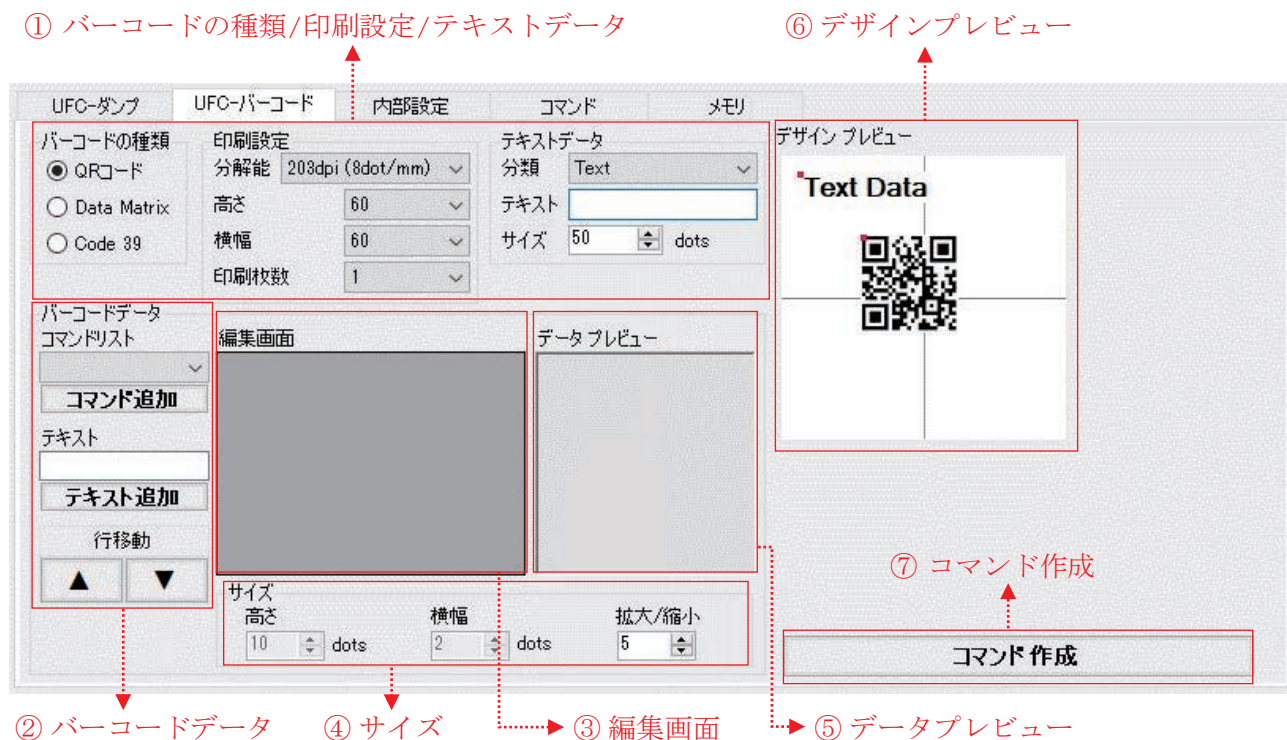


データマトリクスコード印字例



Code 39 印字例

### 3.4.UFC-バーコードラベル機能の各部説明



#### ① バーコードの種類/印刷設定/テキストデータ

バーコードの種類と印刷設定の選択および印字テキストを編集するためのツールです。

名称	説明
QR コード	QR コードとテキストを印字します。
Data Matrix	データマトリクスコードとテキストを印字します。
Code 39	Code 39 とテキストを印字します。
分解能	ラベルプリンタの印字ヘッド解像度を選択します。 203 dpi [8 dot/mm]/300 dpi [12 dot/mm]/406 dpi [16 dot/mm]/600 dpi [24 dot/mm]
高さ	ラベルの長さを入力します。単位は mm です。(10~100mm)
横幅	ラベルの幅を入力します。単位は mm です。(10~100mm)
印刷枚数	一度に印刷する枚数を入力します。(1~10 枚)
分類	変数データ、テキストを選択します。 Text/Command
テキスト	[分類]で[Text]を選択すると、文字の入力ボックスになります。 [分類]で[Command]を選択すると、変数コマンドの選択ができます。 コマンドの種類は機種によって異なります。
サイズ	文字の大きさを設定します。単位は dot です。

## ② バーコードデータ

バーコードのデータを編集する画面です。

名称	説明
コマンドリスト	使用できる変数データを表示します。
コマンド追加	[コマンドリスト]で選択されている変数データを編集画面に追加します。
テキスト	文字を入力して <b>Enter</b> キーを押すと編集画面に文字が追加されます。 (空白を設定することもできます。)
テキスト追加	[テキスト]の文字を編集画面に追加します。
行移動(▲)	編集画面で選択している行(青色)を 1 段上の行と入れ替えます。
行移動(▼)	編集画面で選択している行(青色)を 1 段下の行と入れ替えます。

## ③ サイズ

名称	説明
高さ	バーコードの高さを設定します。(データマトリクスコードと Code 39 のみ)
横幅	バーコードの幅を設定します。(Code 39 のみ)
拡大/縮小	バーコードの拡大倍率を設定します。(QR コードのみ)

## ④ 編集画面

バーコードのデータを編集する画面です。

バーコードにデータを入れ込むにはここに追加してください。

2次元バーコードの場合は行ごとに改行されたデータが入ります。

1次元バーコードの場合は1行にまとめられます。

名称	説明
テキスト列	追加された変数データや文字列が表示されます。 文字列はこの画面でも編集できます。
改行列	チェックが入ると行の末尾に改行コードが入ります。 チェックが外れると改行コードは入らずに次の行と結合されます。
削除列	<b>Delete</b> を押すと押した行が削除されます。

## ⑤ データプレビュー

追加された変数データや文字列が表示されます。

バーコードのデータのプレビュー画面です。

編集画面のデータをプレビューして表示します。

変数データに対応する部分には、個数計が出力するデータの例が表示されます。

表示される例は実際のデータと文字数は同じですが、内容は異なります。

⑥ デザインプレビュー

オブジェクトの印字位置を調整します。

名称	説明
テキストオブジェクト	テキストデータの印字位置を表示します。 位置はマウスでドラッグ&ドロップすることで移動することができます。 テキストの文字とサイズは①テキストデータの内容が反映されます。 オブジェクトの左上にある赤い点が印字位置の基準になります。
バーコードオブジェクト	位置はマウスでドラッグ&ドロップすることで移動することができます。 バーコードの内容はサンプルデータが入っています。 デザインプレビューでは②バーコードデータの内容は反映されていません。 バーコードのサイズは③サイズで調整できます。 オブジェクトの左上にある赤い点が印字位置の基準になります。

⑦ コマンド作成

ラベル印字用に編集した内容を **UFC** 設定コマンドに変換します。  
変換されたデータは[送信データ]に表示されます。

### 3.5. UFC-バーコードラベル機能の操作方法

始めに、「1.3. 操作方法 (Mode 共通)」手順 1~4 を行ってください。

[UFC-バーコード]タブを選択し、UFC-バーコードラベル機能画面を開きます。

#### 5. UFC 出力フォーマットを作成

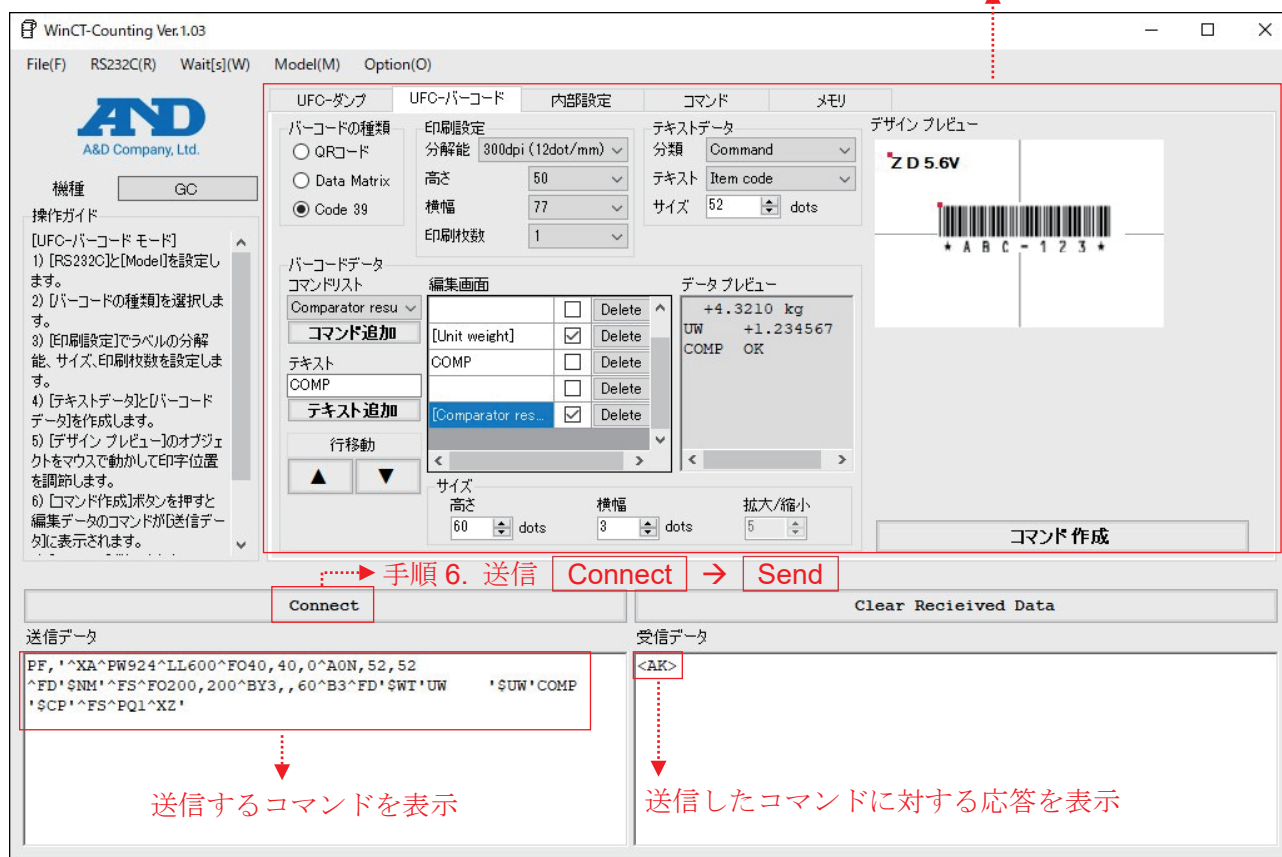
バーコードの種類、印刷設定、テキストデータ、バーコードデータ、デザインプレビューを編集し、

**コマンド作成** を押します。

#### 6. PC から個数計へ UFC 設定コマンドを送信

- (1) **Connect** を押すと通信が開始し、**Send** に変わります。
- (2) **Send** を押すと[送信データ]に表示されたコマンドが個数計へ送信されます。
- (3) 送信された UFC 設定コマンドは個数計に記憶されます。

手順 5. UFC 出力フォーマットを作成



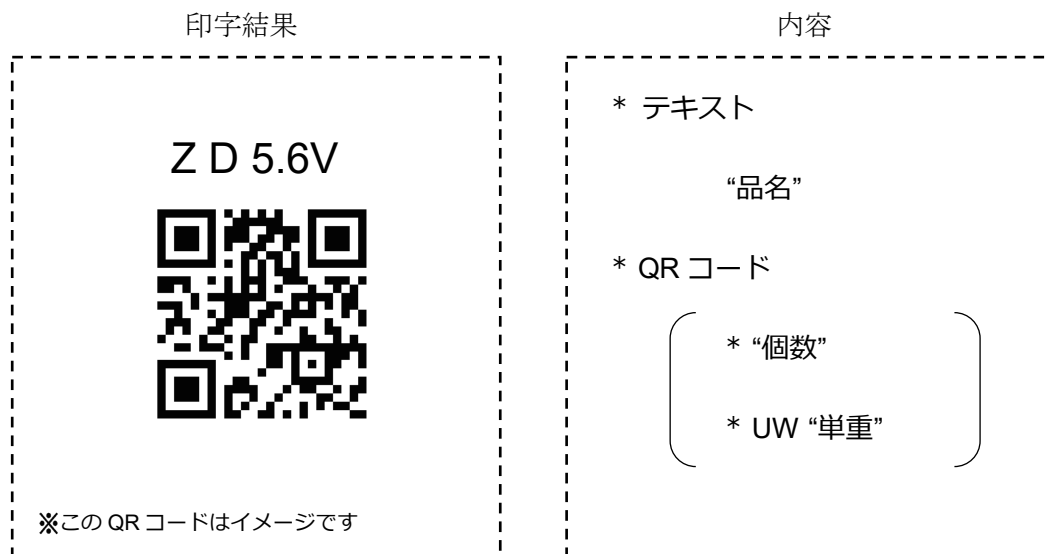
#### 7. 個数計からデータを受信

- 個数計の印字キーを押してデータを出力します。
- 出力されたデータは[受信データ]に表示されるので、データの内容に問題がないか確認します。[受信データ]が「^XA」で始まり、「^XZ」で終了していることを確認してください。「^XZ」で終了していない場合は、データ数が多すぎます。  
②バーコードデータに入れるデータを減らしてみてください。

#### 8. 通信終了

**Disconnect** を押します

### 3.6.UFC 出力フォーマットの作成例



1. [バーコードの種類]で[QR コード]を選択。
2. [テキストデータ]で[分類]から[Command]を選択後、[テキスト]から「Item Code」を選択。
3. [バーコードデータ]で[コマンドリスト]から[Count data]を選択後、**コマンド追加** を押す。  
[テキスト]に「UW 」と入力し、**テキスト追加** を押す。  
[編集画面]の「UW 」テキスト行のチェックボックス(改行)を外す。  
[コマンドリスト]から[Unit weight]を選択後、**コマンド追加** を押す。
4. [デザインプレビュー]でテキストとバーコードの位置を調整する。
5. **コマンド作成** を押し、[送信データ]に UFC 設定コマンドを作成する。

---

## 4. 内部設定機能    Function Mode

---

---

### 4.1. 内部設定機能を利用するには

---

- 国内向けと海外向けの機種で設定できる項目に違いがありますので、[Option] メニューの言語は日本語であることを確認してください。初期設定は日本語です。

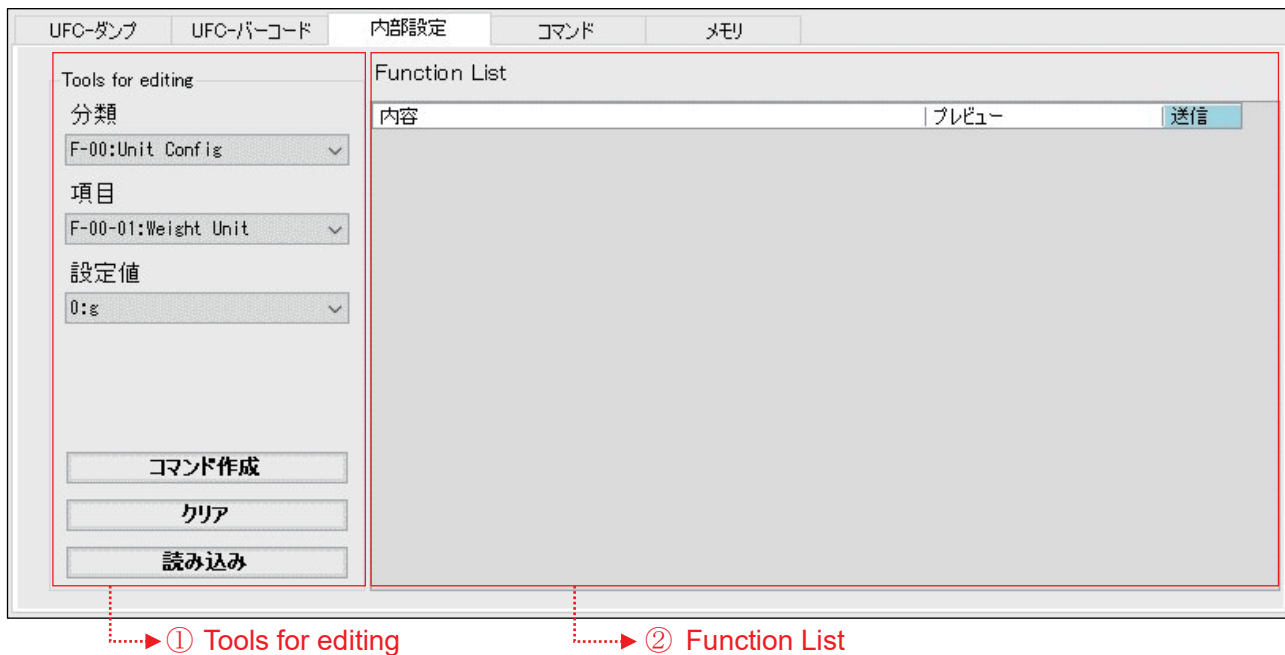
---

### 4.2. 内部設定機能の特長

---

- プルダウン形式で内部設定の項目と設定値が選択可能です。
- 現在の内部設定も呼び出すことが可能なので、変更する際の参考および確認する際にご使用ください。
- チェックボックスの使用により **List** から送信する項目を選択することができます。

### 4.3. 内部設定機能の各部説明



#### ① Tools for editing

内部設定の選択と List の編集を行うためのツールです。

名称	説明
分類	内部設定の大分類を選択します。 機種によって表示される選択肢が異なります。 F-00/F-01/F-02/F-03/F-04/・・・
項目	内部設定の小分類を選択します。 [分類]によって表示される選択肢が異なります。
設定値	変更したい設定を選択します。 チェックボックスがある項目はそれぞれ選択/非選択が可能です。
コマンド作成	[設定値]で選択した内容を[Function List]に追加します。
クリア	[Function List]にある項目を削除します。
読み込み	接続中の個数計のすべての内部設定値を読み込み、[Function List]へ表示します。

#### ② Function List

追加した項目のプレビューと送信するコマンドの選択をする画面です。

名称	説明
内容列	追加された項目が表示されます。
プレビュー列	コマンドが表示されます。
送信列	送信するコマンドにチェックを入れます。 列タイトル[送信]をクリックすると、[送信]列のすべてに一括チェックが入ります。すべてにチェックが入っている状態でクリックするとすべてのチェックが外れます。



## 4.4. 内部設定機能の操作方法

始めに、「1.3. 操作方法 (Mode 共通)」手順 1~4 を行ってください。

[内部設定]タブを選択し、内部設定機能画面を開きます。

### 5. 変更したい内部設定を選択

- (1) 変更したい項目を[分類] → [項目]の順に選択していきます。  
現在の内部設定を確認したい場合は **読み込み** を押します。  
**読み込み** で[Function List]に表示された内部設定をクリックすると、その項目に合わせて[分類]と[項目]が自動的に選択されます。
- (2) [設定値]で設定を選択し、**コマンド作成** を押すと、項目が[Function List]に追加されます。
- (3) 変更したい設定のみ[Function List]右側の[送信]にチェックを入れます。  
チェックを入れた項目のみ[送信データ]にコマンドが生成されます。

### 6. PC から個数計へ内部設定コマンドを送信

- (1) **Connect** を押すと通信が開始し、**Send** に変わります。
- (2) **Send** を押すと[送信データ]に表示されたコマンドが 1 行ずつ個数計へ送信されます。  
行と行の間には [Wait[s]] で設定された時間がおかれます。

手順 5. (1) 変更したい項目を選択 → 追加

手順 5. (3) 送信したいコマンドは[送信]にチェック

The screenshot shows the WinCT-Counting Ver.1.03 software interface. The '内部設定' (Internal Settings) tab is active. The 'Function List' table is visible, with the '送信' (Send) column checked for all items. The '設定値' (Settings) section has 'Total' and 'Comparator Limits' checked. The 'コマンド作成' (Command Creation) button is highlighted. The '送信データ' (Send Data) field shows the generated commands: FC:0604,1; FC:0202,1; FC:0801,110. The '受信データ' (Receive Data) field shows the response: <AK>. Red arrows and text boxes provide step-by-step instructions.

内容	プレビュー	送信	
F-06-04:Baud Rate	1:4800 bps	FC:0604,1	<input checked="" type="checkbox"/>
F-02-02:Keyboard, ID	1:Manual	FC:0202,1	<input checked="" type="checkbox"/>
F-08-01:Memory Item	[1]Total [1]Comparator Limits [0]Tare	FC:0801,110	<input checked="" type="checkbox"/>

送信データ

FC:0604,1
FC:0202,1
FC:0801,110

受信データ

<AK>
<AK>
<AK>

## 7. 個数計から応答を受信

- 応答(<AK>)は送ったコマンドの数と同じだけ返ってくることを確認します。  
数が合わない場合は記憶できていない項目がある可能性があるため、  
〔Wait[s〕〕メニューの時間を調整して再度コマンドを送信してください。
- エラーの応答(EC,E\*)があった場合は、送信データを修正し再送信してください。  
エラーの内容は個数計の取扱説明書を参照ください。

※ GC の場合、出荷時設定はコマンドへの応答無しです。  
応答有りにするためには内部設定 F-06-07 を「1」へ変更してください。

## 8. 通信終了

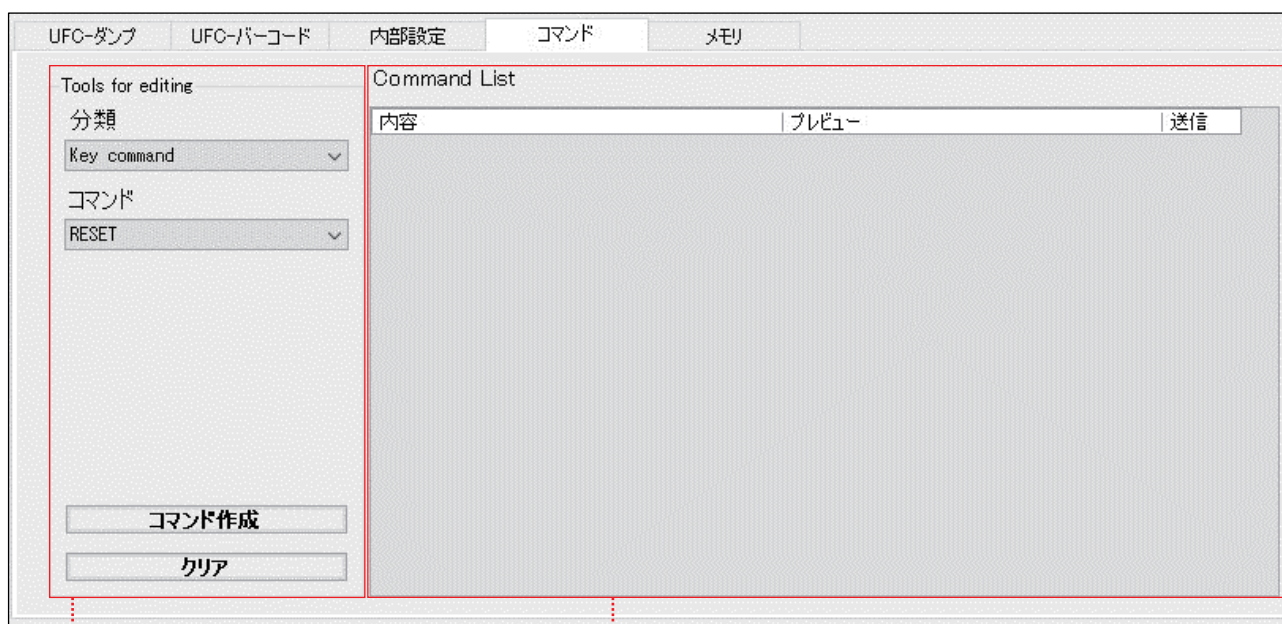
Disconnect を押します。

## 5. コマンド機能 Command Mode

### 5.1. コマンド機能の特長

- プルダウン形式で使用可能なコマンドが選択可能です。
- 値(単重、風袋量など)の入力が必要なコマンドもテキストの前に項目名が表示されるので、感覚的にコマンドの作成が可能です。
- テキスト入力した値の桁などが合わない場合は、テキストボックスに書き込めない仕様です。それ以外の範囲外エラーなどは入力できてしまうので、コマンド送信後の応答をご確認ください。
- キーコマンドは一括ではなく 1 つずつ送信することをお勧めします。
- チェックボックスの使用により [Command List] から送信する項目を選択することができます。
- 品名に使用できる文字は個数計の取説をご確認ください。また品名に「, (カンマ)」は使用できません。

### 5.2. コマンド機能の各部説明



#### ① Tools for editing

コマンドの選択と List の編集を行うためのツールです。

名称	説明
分類	内部設定の大分類を選択します。 機種によって表示される選択肢が異なります。
コマンド	コマンドを選択します。 [分類]によって表示される選択肢が異なります。 値の入力が必要なコマンドにはテキストボックスが表示されます。 説明文(ID、UW、Tare など)に合わせて設定したい値を入力してください。
コマンド作成	[コマンド]で選択した内容を[Command List]に追加します。
クリア	[Command List]にある項目を削除します。

## ② Command List

追加した項目のプレビューと送信するコマンドの選択をする画面です。

名称	説明
内容列	追加された項目が表示されます。
プレビュー列	コマンドが表示されます。
送信列	送信するコマンドにチェックを入れます。

### 5.3. コマンド機能の操作方法

始めに、「1.3. 操作方法 (Mode 共通)」手順 1~4 を行ってください。

[コマンド]タブを選択し、コマンド機能画面を開きます。

#### 5. コマンドを選択

- (1) [分類] → [コマンド]の順に選択していきます。  
テキスト入力が必要な項目は設定値などを入力します。
- (2) **コマンド作成** を押すと、項目が[Command List]に追加されます。
- (3) 送信したいコマンドのみ[Command List]右側の[送信]にチェックを入れます。  
チェックを入れた項目のみ[送信データ]にコマンドが生成されます。

#### 6. PC から個数計へコマンドを送信

- (1) **Connect** を押すと通信が開始し、**Send** に変わります。
- (2) **Send** を押すと[送信データ]に表示されたコマンドが 1 行ずつ個数計へ送信されます。  
同時に送ると機能しないコマンドもあるので、[送信]のチェック入れ替えて 1 つずつ送信するか、  
[Wait[s]] メニューの時間を調整して再度コマンドを送信してください。

#### 7. 個数計からデータを受信

- コマンドの応答は[受信データ]に出力されます。

The screenshot shows the WinCT-Counting Ver.1.03 software interface. The 'Command' tab is active. The 'Tools for editing' section shows '分類' (Category) set to 'Memory' and 'コマンド' (Command) set to 'MI Item Code'. Parameters are '99' for 'パラメータ 1' and 'sample' for 'パラメータ 2'. The 'Command List' table is as follows:

内容	プレビュー	送信
Key command TARE	T	<input type="checkbox"/>
Memory ID F Call ID	F,123	<input type="checkbox"/>
Out put ?QT Count	?QT	<input type="checkbox"/>
Memory ID ML Comparator Limits	ML:3456,1234,40	<input type="checkbox"/>
Memory ID MI Item Code	MI:99,sample	<input checked="" type="checkbox"/>
Item Code	sample	

Annotations on the screenshot:

- Red boxes highlight the '分類' dropdown, 'コマンド' dropdown, 'パラメータ 1' input, 'パラメータ 2' input, and the '送信' checkbox in the 'Command List' table.
- Red arrows point from the 'コマンド作成' button to the '送信' checkbox.
- Red arrows point from the 'Connect' and 'Send' buttons to the '送信データ' field.
- Red arrows point from the '送信データ' field to the '送信するコマンドを表示' text.
- Red arrows point from the '受信データ' field to the '<AK>' text.
- Red arrows point from the '送信データ' field to the '受信データ' field.

#### 8. 通信終了

**Disconnect** を押します。

---

## 6. メモリ機能      Memory Mode

---

---

### 6.1. メモリ機能を利用するには

---

- 個数計は標準で内部メモリに保存できる項目が単重(および品名)のみであるため、内部設定から「内部メモリから呼び出す項目」をすべて(上下限值、風袋、合計など)対象にしておくことをお勧めします。内部設定の詳細は各機種取扱説明書を参照してください。

例) GC の場合    F-08-01: 111 に設定

- 個数計の表示/出力される小数点形状を「, (カンマ)」に設定している場合は、[Memory List]への読み込みができない可能性があるため、「. (ドット)」に設定変更してください。

例) GC の場合    F-04-07: 0 に設定

---

### 6.2. メモリ機能の特長

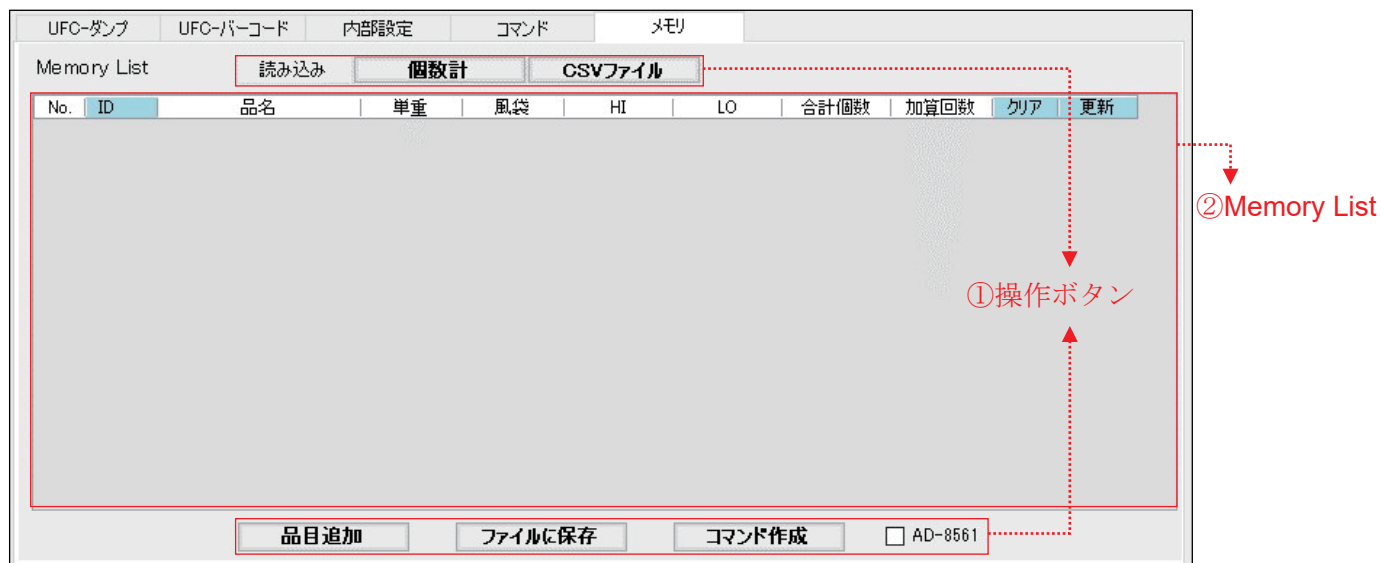
---

- 現在の個数計内部のメモリ内容をリスト化できるため管理しやすくなります。
- 読み込んだリストを直接テキストで編集可能で、変更した項目はセルに色がつくので視覚的に編集箇所がわかります。
- チェックボックスの使用により [Memory List] から送信する項目を選択することができます。
- 読み込んだリストを csv ファイルで保存することで、PC でメモリを保管および SD カードを利用した外部メモリのファイル作成ができます。(外部メモリは SD カードの使用可能な機種のみ)
- PC に保存された csv ファイルを使用して、個数計の内部メモリに一括書き込みも可能です。
  - 機種によって内部メモリに保存できる項目が異なりますので、ご注意ください。
  - 項目や項目の並び順は[メモリ]タブ内の[Memory List]の列をご確認ください。
  - **ファイルに保存** で保存された csv ファイルは、機種変更の際にリストをそのまま使用できるように機種にかかわらず同じ項目の配列で生成される仕様になっています。  
内部メモリに保存できない項目([Memory List]で非表示の項目)は、品名以外 0 で埋まります。  
品名はブランク(空白)のまま出力します。
  - Excel など編集または作成する場合は、品名以外の未定義の項目は 0 で埋めてから csv ファイルへ変換してください。
- 品名に使用できる文字は個数計の取説をご確認ください。また品名に「, (カンマ)」は使用できません。(WinCT-Counting を介さない個数計本体のキー入力による品名登録では使用可能です。)

<保存された csv ファイルの例>

	ID	品名	単重	風袋	上限値	下限値	合計個数	加算回数		
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	999517	Data_696	1.23	0.1	110	-110	0	0		
2	996351	Data_257	2.34	0.2	100	-100	0	0		
3	996254	Data_495	3.45	0.3	90	-90	0	0		
4	995558	Data_536	4.56	0.4	80	-80	0	0		
5	993803	Data_213	5.67	0.5	70	-70	0	0		
6	993518	Data_6	10.123	0	60	-60	0	0		
7	993256		20.456	1	50	-50	0	0		
8	992899	Data_546	30.789	1	40	-40	0	0		
9	992416	Data_131	100.123	1	100	-100	20	2		
10	990925	Data_846	200.456	1	200	100	10	1		
11	990576	Data_181	1	0	100	50	0	0		
12	990164	Data_5	6	0	0	0	0	0		
13	990060		7.8901	0	0	0	0	0		
14	989818	Data_248	200.456	0	0	0	0	0		

### 6.3. メモリ機能の各部説明



#### ① 操作ボタン

List の編集を行うためのツールです。

名称	説明
個数計	接続中の個数計のすべてのメモリデータを読み込み、[Memory List]へ表示します。
CSV ファイル	PC に保存された csv ファイルを読み込み、[Memory List]へ表示します。
品目追加	新しい品目を追加します。 ID が未編集のまま <b>コマンド作成</b> を押すとその行は削除されます。
ファイルに保存	[Memory List]に表示されている項目を csv ファイルに保存します。 そのまま SD カードにコピーすると外部メモリとして使用可能です。
コマンド作成	[更新]にチェックが入った品目のコマンドを生成します。 作成されたコマンドは[送信データ]へ表示します。
AD-8561	生成されるコマンドの形式が変わります。 個数計 GC で AD-8561-MI02 の USB インタフェース経由で通信する場合は、 チェックを入れてください。個数計 GC 以外の機種では表示されません。



## ② Memory List

読み込み、追加したメモリ内容を表示します。

名称	説明
No.列	List にメモリが表示されている順番を示します。
ID 列	メモリの ID 番号を表示します。 [ID]をクリックすると ID 番号順にソートできます。
品名列	メモリの品名を表示します。この列が存在しない機種があります。
単重列	メモリの単重を表示します。
風袋列	メモリの風袋量を表示します。 読み込みは可能ですが編集および変更ができない機種があります。
HI 列	メモリのコンパレータ上限値を表示します。
LO 列	メモリのコンパレータ下限値を表示します。
合計個数列	メモリの合計個数を表示します。この列が存在しない機種があります。
加算回数列	メモリの加算回数を表示します。この列が存在しない機種があります。
クリア列	個数計の内部メモリで削除したい品目にチェックを入れます。 [更新]にチェックがない限り削除されません。 列タイトル[クリア]をクリックするとすべての品目に一括チェックが入ります。すべてにチェックが入っている状態でクリックするとすべてのチェックが外れます。
更新列	変更または追加する品目にチェックを入れます。 列タイトル[更新]をクリックするとすべての品目に一括チェックが入ります。すべてにチェックが入っている状態でクリックするとすべてのチェックが外れます。

## 6.4. メモリ機能の操作方法

始めに、「1.3. 操作方法 (Mode 共通)」手順 1~4 を行ってください。

[メモリ]タブを選択し、メモリ機能画面を開きます。

### 5. メモリのリストを作成

(1) [Memory List]にメモリの情報を展開します。

- 現在の内部メモリを確認したい場合は、**個数計** を押します。
- PC に保存された csv ファイルを確認したい場合は、**CSV ファイル** を押します。
- 新しい品目を追加したい場合は、**品目追加** を押します。
- [Memory List]に展開された内容を書き換えたい場合は項目にカーソルを合わせテキスト編集します。

(2) 個数計に記憶したい項目は[Memory List]右側の[更新]にチェックを入れます。

- 列タイトル[更新]をクリックすると[Memory List]のすべての項目にチェックが入ります。  
すべての項目にチェックが入った状態で押すとすべての項目のチェックが外れます。

(3) [Memory List]右側の[Clear]にチェックが入っている項目は、その品目のクリアコマンドが生成されます。

- クリアしたい項目は[クリア]と[更新]両方にチェックします。
- 列タイトル[クリア]をクリックすると[Memory List]のすべての項目にチェックが入ります。  
すべての項目にチェックが入った状態で押すとすべての項目のチェックが外れます。

(4) **コマンド作成** を押すと、チェックを入れた項目のみ[送信データ]にコマンドが生成されます。

(5) 現在の[Memory List]を csv ファイルに保存したい場合は、**ファイルに保存** を押します。

- ファイル名を入力して保存します。

※ 以下の場合、[Memory List]内のセルの色が変わります。

黄色	テキストを修正または品目を追加した項目
赤色	使用できない数値または使用できない文字 ([ID]に 000000、[単重]に数字以外の文字が入っているなど) 赤いセルを含む品目は <b>コマンド作成</b> でコマンド生成できません。
紫色	[Memory List]内で ID が重複している [ID]をクリックして ID 順に並び替えると重複している品目を探しやすいです。

※ 個数計 GC の時、[AD8561]のチェックを入れることで生成される MR コマンドを MR/MI/ML/MA に分割することができます。AD-8561-MI02 の USB インタフェース経由で通信する場合は、必ずこのチェックを入れてください。GC と直接通信する場合はどちらでも動作は変わりませんがコマンドの数が増えるので送信開始から終了まで時間がかかる可能性があります。

※ AD-8561 の RS-232C インタフェース経由で通信する場合は、[AD8561]のチェックを入れる必要はありませんが、AD-8561 の RS-232C ポートのボーレート設定を 9600bps 以上に設定してください。4800bps 以下では個数計読み込み時にうまく [Memory List]に読み込めない場合があります。

[ID]クリックで  
ID 番号順に並び替え

手順5 (2)(3) 内部メモリに追加または変更したい品目は[更新]にチェック  
削除したい品目は[クリア][更新]両方にチェック

WinCT-Counting Ver.1.03

File(F) RS232C(R) Wait[s](W) Model(M) Option(O)

UFC-ダンプ UFC-バーコード 内部設定 コマンド メモリ

Memory List 読み込み 個数計 CSVファイル

[クリア]/[更新]クリックで  
全項目にチェックが入る

No.	ID	品名	単重	風袋	HI	LO	合計個数	加算回数	クリア	更新
1	0	Sample 1	1.23	0.1	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	000002	Sample 2	5.34	0.2	1000	700	10	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	2	Sample 3	3.45	0.3	10	-10	20	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	000004	Sample 4	test	0.4	10	-10	30	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	000005	Sample 5	5.67	0.5	10	-10	40	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	000008	サンプル 1	10.123	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	000007	サンプル 2	20.456	1	100	100	100	10	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	000008	サンプル 3	30.789	1	200	100	200	20	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	000009	サンプル 4	100.123	1	200	100	300	30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	000010	サンプル 5	7.89	1	200	100	-100	40	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
11	123		9.12	1.2	70	70	60	8	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
12	4		1.000000	0000.000	+00000000	+00000000	+00000000	00000000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

機種 GC

操作ガイド  
[メモリモード]  
1) [RS232C]と[Mode]を設定します。  
2) [個数計]または[CSVファイル]からデータを読み込みます。  
3) [Memory List]を編集します。  
4) [コマンド作成]ボタンを押すと[更新]にチェックが付いたコマンドが[送信データ]に表示されます。  
5) [Connect]ボタンを押して[Send]ボタンを押すと、個数計へデータが送信されます。

品目追加 ファイルに保存 コマンド作成  AD-8561

Connect Clear Received Data

送信データ  
MR:000002,Sample 2,5.34,0.2,1000,700,10,1  
CM:000005  
MR:000007,サンプル 2,20.456,1,100,100,100,10  
MR:000010,サンプル 5,7.89,1,200,100,-100,40  
MR:123,9.12,1.2,70,70,60,8

受信データ  
<AK>  
<AK>  
<AK>  
<AK>  
<AK>

AD-8561-MI02 の  
USB インタフェース接続時は  
チェック必須

手順5 (4)  
[更新]にチェックがついた品目のコマンドを作成

手順5 (1)  
[Memory List]に新しい品目を追加

送信するコマンドを表示

手順6. 送信  →

手順5. (5) [Memory List]を csv で保存

## 6. PC から個数計へ設定コマンドを送信

- を押すと通信が開始し、 に変わります。
- を押すと[送信データ]に表示されたコマンドが1つずつ個数計へ送信されます。行と行の間には[Wait[s]]で設定された時間がおかれます。

## 7. 個数計から応答を受信

- 応答(<AK>)は送ったコマンドの数と同じだけ返ってくることを確認します。
- 数が合わない場合は記憶できていない項目がある可能性があるため、[Wait[s]]メニューの時間を調整して再度コマンドを送信してください。
- エラーの応答(EC, E\*)があった場合は、送信データを修正し再送信してください。エラーの内容は個数計の取扱説明書を参照ください。

※ GC の場合、出荷時設定はコマンドへの応答無しです。  
応答有りにするためには内部設定 F-06-07 を「1」へ変更してください。

## 8. 通信終了

を押します。

---

## 6.5. メモリ機能の使用例

---

### <内部メモリの一部を変更したい時の手順>

1. **個数計** を押して、内部メモリを[Memory List]に表示させます。
2. 変更したい項目にカーソルを合わせてテキスト修正します。
3. 変更した品目の[更新]欄にチェックを入れます。
4. 手順 2、3 を繰り返します。
5. **コマンド作成** で対象の品目を書き換えるコマンドを生成します。
6. **Send** で個数計へコマンドを送信します。

### <内部メモリを csv ファイルで PC に保存したい時の手順>

1. **個数計** を押して、内部メモリを[Memory List]に表示させます。
2. **ファイルに保存** を押して名前を付けて保存します。

※ 作成したファイルをそのまま SD カードに書き込むことで外部メモリとして使用できます。

### <保存していた csv ファイルの内容を個数計の内部メモリに保存する時の手順>

1. **CSV ファイル** を押して、保存したファイルを選択し[Memory List]に表示させます。
2. 列タイトル[更新]を押し、すべての品目の[更新]欄にチェックを入れます。
3. **コマンド作成** で対象の品目を書き換えるコマンドを生成します。
4. **Send** で個数計へコマンドを送信します。

### <SD カードの中身を閲覧/修正したい時の手順>

1. SD カード内のファイル(csv 形式)を PC に保存しておきます。
2. **CSV ファイル** を押して、手順 1 で保存したファイルを選択し[Memory List]に表示させます。
3. 変更したい項目にカーソルを合わせてテキスト修正します。
4. **ファイルに保存** を押して名前を付けて保存します。
5. SD カード内のファイル(csv 形式)を手順 4 のファイルに置き換えます。





[白紙]

## 使い方・修理に関するお問い合わせ窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。  
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

### お客様相談センター

電話 **0120-514-019**

通話料無料

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00、月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く) 都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

### 修理をご依頼される方へ

詳しくはこちらをご確認ください。

[https://link.aandd.jp/Support\\_Repair\\_Jp](https://link.aandd.jp/Support_Repair_Jp)



2023年04月01日現在のリンク先 URL：

[https://www.aandd.co.jp/support/repair\\_info/pickup.html](https://www.aandd.co.jp/support/repair_info/pickup.html)